



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO

2015, 1

68th

CHARTERED 1947

CLUB OFFICE / KYOTO YMCA : Yanaginobanba, Sanjo, Nakagyō-ku, Kyoto 604-8083 Japan Phone(075)231-4388 http://www.kyotoys.com/

2014~2015年度 主題

国際会長(IP) Isaac Palathinkal(アイザック パラシンカル)インド

Theme "Talk Less, Do More" 主題『言葉より行動を』

Slogan "Do it Now" 標語「今すぐやろう！」

アジア地域会長(AP) Yaz Okano(岡野 泰和)大阪土佐堀

Theme "Start Future Now" 主題『未来を始めよう、今すぐに』

Slogan "One Asia One World" 標語「ひとつのアジア、世界はひとつ」

西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)

主題『響き合い、ともに歩む "To walk together, echoing each other"』

スローガン 「-こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく-」

京都部部長(DG) 畠本 誠(京都トゥービー)

主題『行雲流水』 "Be Y's men"

強調月間

IBC・DBCの月

会長	多賀 久貴
副会長	西村 博一
書記	田中 孝明
会計	石若 義雄
	三保 俊幸
	津村健太郎
	合田 太一

今月の聖句

「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくれたその出来事を見ようではないか。」

ルカによる福音書 2: 15



クリスマスは、「旅」の物語という一面があると思います。救い主の誕生を知らされた羊飼いと博士達は、遠く移動してイエス様に会いに行きます。彼らの旅の先には、期待に応えてくれるものがあるかどうかの保証はありません。彼らは神様からの約束だけを頼りに旅に出かけました。そして彼らは、期待以上の喜びを得たのでした。信仰とは、保証のない旅に出かけるようなものかもしれません。あるのはただ、神様からの約束だけです。神様がいつも側にいてください、最も良い結果へと導いてくださるという約束です。具体的にはどのような所にたどり着くかは分かりません。けれども、必ず、私たちの予想を超える喜びへと導いてくださることでしょう。不安はあっても、恐れずに、新たな旅に出かけたいと思います。

日本聖公会 京都聖マリア教会 司祭 ミカエル 齋藤謙久

京都クラブ第67代会長 多賀 久貴 主題
『レッツ・ビギン』 “～明日の為に今始めよう～”



見える世界と見えない世界

バルセロナで語学学校に通いながら美術館を見て廻りました。カタルーニャ美術館、トレドのカテドラル、マドリードのプラド美術館です。この地に行くことを決めてから、あわてて図書館で漁った本によると昔、国王や貴族達はゴヤやエル・グレコら多くのお抱え画家に自画像を描かせたそうです。画家はその合間に街の日常や戦争を描き、さらに自分の思想宗教の教えを絵にしています。現実や想いを描いた膨大な絵の中でいくつかの「受胎告知」「イエスの降誕」「ビエタ」などを見ていると、ふと「イエスの降誕は本当にあったのかもしれない」と思うようになりました。誰かがこのシーンを見たかのように、何人の画家が同じ主題を描いているからです。

美術館ではしばしば小学生の子どもたちが絵の前で座り込み、先生の話に耳を傾けている風景に出会います。プラド美術館でも他の観光客にお構いなくベラスケスの名画『ラス・メニーナス』の前で陣取っていました。一心に聞き入る子ども達を見ていて羨ましく思いました。この一枚の絵の向こう側にある世界をこの子たちは漂亮ながら、見えない世界を必死に確かめようとしているかの様です。どこまで想いを膨らませるのでしょう。

こんな絵本があることを思い出しました。「サンタクロース正在するのでしょうか？」1897年アメリカで8才の少女バージニアがニューヨーク・サン新聞に手紙を書きます。「友達はサンタクロースなんていないと言います。お願いです、教えて下さい。サンタクロースって本当ですか？」ニューヨーク・サン新聞はその社説で返事を書きます。「あなたの友達は目に見える物しか信用しないのですね。この世界で一番確かな事それは目に見えない物なのです。サンタクロースはいます。」(要約)

バルセロナにはクリスマスツリーはありません。ベレンと言われる、イエスの降誕をイメージした箱庭にそれぞれの人形を並べて家庭に飾ります。プレゼントも丸太の人形ティオのお尻から出て来ます。大人も子どもも夢の世界を楽しんでいます。冒頭の話に戻ると、私も一人何百年も前に描かれた数多くの絵画に囲まれて歩きながら、ふと振り返りたくなるような、そして何とも言えない心地よさに浸りました。

昨年は京都クラブの活動に参加させて頂きました。ありがとうございました。今年もクラブの活動に想いを膨らませる年でありたいと想います。皆様にとって良い一年でありますように。

12月例会出席者及び出席率 在籍者30名
例会出席者26名 ゲスト3名 ビジター0名
マークアップ1名 12月出席率→90.0%
11月出席率 マークアップ後確定→90.0%

ニコニコ
12月分 累計
8,000円
43,000円

クラブファンド
累計 ?円

BF現金ポイント
累計 ?pt

" TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT "

Pをクリックするとそこへジャンプします→ [1P](#) [3P](#) [4P](#)

The Y's Men's Club of KYOTO Bulletin



11月30日(日)

「いのちの電話」チャリティーコンサート

同志社女子大栄光館の玄関口で、毎年受け付けをしながらよく思うことがある。よくもこれだけ一般の人を大勢集められるなあ…。2000枚足らずのチケットを配布しているようだが、当日入場者に配るパンフレットが500部位は出て行く。この手のコンサートにしては、なかなかの回収率だと思う。京都クラブのメンバーが購入したチケットのように、売れていて来られていない数

まで考えるとたいしたものだ。活動内容がY
MCAに比べてわかり

易い点がチャリティに応じる気を起こさせ易いのかもしれない。YMCAの活動も一般市民に対してわかり易いイメージやストーリーを明確に打ち出して募金やチャリティを訴えて行くことが急務であろう。

ともあれ、今年も盛況のうちにバイオリン・デュオのチャリティーコンサートは終了した。三条本館のクリスマス・デコレーション・ワークと日程が重なったため、後援とチラシやポスターにも掲載されている割には、京都ワイズからの参加者は5名でしたが、そこは精鋭チーム。例年通り当日の与えられた仕事はちゃんと果たしてきました。担当の石川ワイズ、お疲れ様でした。



11月30日(日) 2014 クリスマス・イルミネーション三条本館飾りつけ



クリスマス・ウィークの京都YMCA三条本館を飾るイルミネーションが設置されました。今年のメインは会館正面の壁面を飾るイルミネーションの復活です。

最近まで会館正面には高さ8mの鉄骨の枠組みを三角ツリーに模した電飾の飾り付けをしていました。YMCAの文字も入りきれないな物でしたが、枠が重く持ち上げるのが大変でした。メンバーの高齢化とワークの人数不足が重なり、作業が危険なため3年くらい前から飾りつけました。

今年はなんとしても壁面の飾り付けをう思いのもと、ツリー制作常連メンバーではありますがきれいな飾り付けが出また、ドーム屋根の上にはトナカイにひ電飾のサンタさんも新登場しました。外了し、内部飾り付け班と合流して室内の高さ3mのツリーと大きなリースをなかったトナカイのぬいぐるみも皆を見下ろしています。

これで、クリスマス・ウィークに5日連続で開催されるロビーコンサート市民クリスマスの準備もできました。わずか1ヶ月の飾り付けですが、来館される皆様のお目に留まればうれしく思います。全ての作業を終えて外に出てみると、三条通りを行く人達が足を止めてイルミネーションを見上げていた姿に疲れも飛んでいきました。



を断念しております。
復活させたいとい
に依頼し、シンプル
来たと思います。
かれたソリに乗る
部の飾りつけが終
飾り、ヅタの、じゃ

や12月19日の



12月9日(火)

癒しの音楽と美味しい酒食に満足の12月忘年例会



12月9日に忘年例会と銘うって開催された12月例会は、講師に作曲家、和風ピアニスト、音のソムリエ、そして京都精華大学・人文学部教授の肩書を持つ小松正史氏を迎へ、また入会が間近と皆が期待する中村泰之氏と相原隆幸氏2名のゲストを交えて楽しく過ごしました。

『耳のチャンネルを変えてみよう! ~音風景への誘い~』と題して始まった講演では、シンギングボウルという金属製のお椀に似たものの回りを丸く擦ると音色は深く低く、徐々に波を打つように響き始めます。インド、ネパールを中心に、癒しの道具として人気が高まっているそうです。

また、京都には多様性を持った魅力的な音の風景が多々あり、糺の森、鴨川の水の流れ、豆腐屋のラッパの音などの録音を紹介され、NHK-FMの“音の風景”的放送が思い出されます。最後に鴨川の源流をイメージして作られたピアノ曲とクリスマスを控えた曲を演奏されて締めくくられました。

その後、表彰式があり、柴田ワイズがYMCA同盟者少年奉仕賞(70歳以上長期奉仕に対して)を受賞され、森ワイズにはYMCA会員歴50年、大田ワイズには会員歴25年のバッヂが神崎総主事から贈呈されました。

今回はアルコールが入るため食事より先に講演等を行ってから、佐々木直前会長の発声によりワインで乾杯、洋食を美味しくいただきました。



2

Pをクリックするとそこへジャンプします→ [1P](#) [2P](#) [4P](#)



京都YMCA 125周年記念のロビーコンサート、初日は京都府立北嵯峨高校のクラシックギター部の演奏です。“4つのヴァイオリンのためのコンチェルトよりアダージョ、アレグロ”を6名で演奏してくれました。6名ともなると迫力があります。その後はソロでクラシックギターの魅力が味わえる曲が続きました。観客はワイズメンが多く一般の方が少なかったのですが、



YMC Aの教室帰りでしょうか、4人家族の親子連れがしばらく聴いていました。子どもは小学校低学年ぐらいと幼稚園ぐらいと思われる女の子と男の子でしたが、2人ともギターの音色に引き込まれるように聴き入っているのが印象的でした。

クラシックギター部部長の牧野悟君に「このYMCAのロビーコンサートで演奏することについてどうですか」とインタビューをしました。「舞台で発表する機会は、学園祭とコンクールを除けばあまりなく、とても新鮮で、『YMCAで12月15日に発表する』という目標ができ、毎日の練習に励みになります。私たちは音楽が大好きで、観客の方々にもぜひ楽しんでほしいと思っています。今年は親しみやすい“コンドルは飛んでいく”

“紫陽花”も入れて演奏に臨みます。」今年で2回目ですが、北嵯峨高校の生徒なりに一生懸命考えててくれました。とてもうれしいことです。また、自分達で作曲した“Moment”とい

う曲も披露してくれました。これ高校生が作曲したの?と思うほど素敵な曲で演奏だけでなく作曲までできるのかと若い力に驚かされると同時に若者達の才能に夢を貰った気がしました。北嵯峨高校クラシックギター部の生徒さんありがとうございます。

12月19日(金) 京都YMCA 市民クリスマス&キャロリング



京都YMCA創立125周年記念事業
京都ワイズメンズクラブの京野菜支援
“京野菜スイーツFLAVOR’Sマルシェ（市場）”
野菜農家の新鮮・無農薬野菜直売



第8回は 1月18日(日)午前11時～午後5時
京都YMCA(三条通り柳馬場角)本館駐輪場
私たちは発達障がい児サポートプログラムに取り組む公益財団法人京都YMCAを応援します

京都YMCA創立125周年記念事業



国際協力チャリティーアイベント



Open for All すべての人と共に歩む

ネバーラルYMCAが運営する児童養護施設をサポートしよう！



2015年
2月1日(日)
 11時30分～16時

ネバーラルYMCAラリーグラスチルドレンホームの子供たち

世界の祭典やバザー、ステージパフォーマンス等、楽しいイベントがいっぱいです。お立ち寄りください。イベントに参加されることで、チャリティができます。

主催(場所): 公益財団法人京都YMCA

京都市中京区三条通柳橋角

後援: ウィズソシウラ国際協会西日本区京都部

問い合わせ: 075-231-4388

URL <http://kyotoymca.or.jp>



